

令和7年度 第2回 政策調整会議 会議録

◆開催日時：令和7年9月24日（水） 10：22～10：43

◆開催場所：第2委員会室

◆出席委員：藤浪副市長、岸副市長、大下教育長、西川総合政策部長、谷口総務部長、
新内財務部長

◆説明者：浅野財政課長、高木調整主幹、高橋予算担当長

◆審議事項

令和8年度予算編成方針について・・・・・・・・・・・・・・・・・・財政課⇒承認

◆審議概要

◎付議依頼書等に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈藤浪副市長〉「Ⅲ. 今後の取組」の、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について述べている部分では「行財政改革」という記載があり、歳出を減らすというイメージが強い。歳入の確保は成長戦略事業について書かれているところに当然含まれてくるとは思うが、文言として、歳入の確保に向けた取組について明確に発信する記載はなくても良いのか。

〈財政課長〉「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中では、歳入に関する内容も含まれている。ふるさと寄附のように具体的な記載はしていないが、方針の内容に包含させて取り組んでいく。

〈総合政策部長〉自動販売機でふるさと寄附ができるという事例も参考にして、工夫した取組を考えている。

〈岸副市長〉「Ⅲ. 今後の取組」について、昨年から追加されている内容はあるか。

〈財政課長〉今回の予算編成方針では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を国も進めているというところ、本市においてもこれに重きを置いて進めていくという内容で、新たに挙げている。

〈岸副市長〉前半に「若い世代から選ばれるまち、岸和田」、後半に「誰もが“幸せ”を感じる」とあり、ターゲットが絞れてないような印象を受ける。

それから、可能であれば、本市のイメージアップに繋がる予算編成にできるような表現も追加して欲しいと思う。今の案が悪いという訳ではないが、より一層イメージアップできるような予算編成にしていけたらと思っている。「市民が誇りを持っていただけの、職員が誇りを持って働ける岸和田の姿を築く」という内容も入れてみてはどうか。

〈財政課長〉検討する。

〈教育長〉資料の1ページ目、「Ⅱ. 岸和田市の財政状況と今後の見通し」の下から3行目で、「財政の硬直化解消には至っていない」というところは、「財政の硬直化は改善でき

ていない」というふうにはっきり言うべきではないか。経常収支比率は高止まりしており、解消とは言えないような現状であるので、ここは強調しておいたほうが良いと思う。

一方で、両副市長もおっしゃっていたように「Ⅲ. 今後の取組」のところで、まず行財政改革から入るのか、というイメージがある。

例えば、市長が言われている「若い世代から選ばれるまち、岸和田」を最初に述べ、「このため、令和8年度の予算では、まずまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいて、未来への投資を総合的かつ計画的に展開していく」という内容を続けた上で、行財政改革の表現を入れることを一度検討してもらえたらと思う。

岸和田のイメージ、シビックプライドの向上も大事なので、ここで記載するかどうかは別にして、これからも言い続けていかないといけない。

〈総務部長〉同じような意見になるが、「引き続き『行財政改革』に取り組む」というところは、当然取り組む必要はあるものの、何か変わった感じがしないと思うところがあった。昨年、給与改定が30数年ぶりの改定率だったことを申し上げたが、それを超えるような改定が今年の人勧で示されるとは想定していなかった。「賃上げこそが成長戦略の要」というところで、この傾向は続くのではと思う。市の財政の経常収支比率に直接はね返ってくる部分になるので、この辺りも気にしながら財政運営を続けてもらいたい。

〈財務部長〉歳入確保については「Ⅲ. 今後の取組」で、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、本市の成長やにぎわいの創出に向けた「未来への投資」を継続的、安定的に展開することで、自主財源の確保に向けた取組を強化し、市税等の歳入確保を図っていく、という意図を持って記載している。

イメージアップに関しては、昨年の予算編成方針では万博の機会を利用してシティセールスを行う内容を記載したところである。今回は来年11月に、豊かな海づくり大会という、全国的に注目を浴びるイベントが開かれる。その機会を通してイメージアップを図っていききたい、情報発信を積極的にやっていきたい、という意味合いを持って記載したところである。

〈総合政策部長〉予算編成方針には直接的に関係ないが、世の中の金利上昇がこれから市の財政の負担にどう影響してくるのかを教えてほしい。

〈財政課長〉財政計画を作るにあたり、例えば20年償還の起債では単年度で2～3億円程度の影響が出ると考えられる。金利の上昇も見ながら計画は考えなければならない。

〈総合政策部長〉金利の部分も今まで以上に考慮して歳出削減や歳入確保に取り組んでいかなければならないと思う。苦勞をかけるところも出てくると思うが、よろしく願いたい。内容について一部修正の上、政策決定会議に諮ることとしてよい。

【異議なし】

⇒本件、原案を一部修正の上、政策決定会議に付議する。

令和7年9月 10 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 財務部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和8年度予算編成方針について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和8年度予算編成にあたり、その骨子となる予算編成方針について、付議する。 ■効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第2号に該当
説明者 (部長は説明者に含まない。)	浅野財政課長 高木調整主幹 高橋予算担当長
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和7年度 第2回会議
付議事項	令和8年度予算編成方針について

★取組の目的

対象	職員
どのような状態を目指す	令和8年度予算編成にあたり、その骨子となる予算編成方針について、付議する。 ■効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第2号に該当

★総合計画上の位置付け

6020402	基本目標	みんなでつくる持続可能なまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	持続可能で信頼される行政になっている
	個別目標の方向性	④ 安定的な歳入確保と適切な歳出管理を進める
	行政の役割	中長期の視点で、効果的・効率的な財源配分や単年度収支及び基金・借入金の管理を行う

★現状と課題

「岸和田市健全な財政運営に関する条例」に基づき、持続的かつ計画的な財政運営に資するため、毎年、財政計画を策定し、次年度の予算編成を行っている。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費		計			R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
		0			0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

指標名						目標値				
						R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。